

令和5年11月15日

各 位

倉敷市長 伊 東 香 織

倉敷市水島ふれあいセンターの指定管理者（候補者）の選定について

現在、倉敷市水島ふれあいセンターは、多様化する住民ニーズに、より効果的・効率的に対応するため、民間の能力を活用し、提供するサービスの更なる向上を目指すことを目的に、指定管理者による管理運営を行うこととし、事業者を公募しておりました。

この方針に従い、選定手続きを行いました。この度、次のとおり優秀提案団体を決定しました。

記

1 施設名 倉敷市水島ふれあいセンター

2 応募団体数 1団体

3 優秀提案団体

区 分	所在地・商号又は名称・代表者
優秀提案団体 優先交渉団体	所在地 倉敷市四十瀬4番地 名 称 公益財団法人倉敷市スポーツ振興協会 代表者 会長 藤 木 達 夫

4 選定基準及び審査結果（得点）

別表のとおり。

5 選定理由

倉敷市水島ふれあいセンター（以下、「水島ふれあいセンター」という。）の指定管理者の選定にあたり、提出された提案書を審査し、また、応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答を実施し、選定基準に基づいて総合的に評価した。

その結果、提案が優秀と認められたため、公益財団法人倉敷市スポーツ振興協会を優秀提案団体として選定した。なお、優秀と判断した主な理由は次のとおりである。

- (1) 公益財団法人倉敷市スポーツ振興協会は、水島ふれあいセンターが供用開始された平成11年から当該施設の管理運営を行い、指定管理者制度導入後も引き続き指定管理者として当該施設の管理運営にあたっているため、施設の性格や設置目的、業務内容等を熟知しており、適切かつ安定した管理運営を行ってきた実績を有している。
- (2) 収益向上や費用削減によって得た余剰金については、バレーボール用軽量支柱の購入等、利用者の利便性向上のために積極的に活用されてきた点が評価できる。
- (3) 安全管理について、事故がおこりやすい場所や状況とその対処を入浴時やスポーツ・レクリエーション活動時など具体的に示されている。これは、倉敷市スポーツ振興協会の経験と実績が活かされており、管理運営を任せる上で十分に信頼できる。
- (4) 車いすの設置提案について、現在、市役所には車いすを設置しているが、当センターには設置していなかった。日頃から安心安全を心掛けている現場だからこの気づきであり、専門性の高いサービスの提供が期待できる。
水島ふれあいセンターの設置目的を適正かつ確実に達成するため、優先交渉団体となった公益財団法人倉敷市スポーツ振興協会が業務を実施するにあたっては、次の点について要望する。
 - (ア) 施設を清潔に維持しており、設備の管理も徹底しているが、今後も長期的に使用することを踏まえて、LED照明の導入だけでなく、計画的な長寿命化対策を期待する。
 - (イ) 有料施設等の予約状況の確認及び予約について、WEB予約の導入等、利用

者の利便性の向上に努めること。

(ウ) 施設の更なる活性化を図るため、地域団体も巻き込みながら、子どもから大人まで多くの方の利用につながるよう、ソフト事業や情報発信を工夫されたい。

(エ) 利用者の安全確保に関して、普通救命講習の受講とあるが、従業員の方には、応急手当普及員講習の受講も検討すること。

6 選定までのスケジュール

第1回選定委員会（議長選出・施設見学・選定基準の確認など）

令和5年7月 7日

募集要項の配布期間 7月11日～7月25日

公募説明会 7月26日

参加表明書提出期限 8月10日

提案書提出期限 8月31日

第2回選定委員会（提案書審査・プレゼンテーション・質疑応答など）

10月6日